

ワールドワイド携帯電話四半期動向

2010年8月3日報告

2010年2Q(4-6月)調査結果 目次

1	2010年2Q (2010年4-6月)の要約	3	7	端末需要動向推移	23
2	地域別累積加入推移(四半期別)	6	7.1.	2010年2Q (4-6月)需要動向	23
2.1.	中国 インド、ブラジル、ロシア加入推移	9	7.2.	2010年方式別、メーカー別需要量予測	27
3	方式別加入推移(四半期別)	11	8	Nokiaの2010年2Q動向	29
4	2010年加入者予測	14	9	Samsungの2010年2Q動向	32
4.1.	地域別	14	10	LGの2010年2Q動向	34
4.2.	方式別	15	11	Sony Ericssonの2010年2Q動向	37
5	主要オペレータ加入者数推移	16	12	Motorolaの2010年2Q動向	39
5.1.	アジア	16	13	Smart Phoneメーカーの2010年2Q動向	42
5.2.	西欧	17	13.1.	Research in Motion	42
5.3.	東欧	18	13.2.	Apple	42
5.4.	北米	19	13.3.	HTC	43
5.5.	中南米	20	14	日本メーカーの2010年2Q動向	44
5.6.	中東/アフリカ	21	15	その他の端末動向	45
5.7.	主要オペレータ加入者数推移の世界全体に占める推定比率	21	16	端末各社の出荷計画	46
6	主要モバイルインフラメーカーの業績推移	22	17	製品在庫状況	47

2010年2Qの世界の携帯電話市場概況

加入者数推移

4-6月期のワールドワイドの新規加入件数は前期を下回った。直接的な要因は BRICs の低迷で、4カ国中前期の新規加入レベルを上回ったのはブラジルだけで、残り3カ国は前期水準を割り込んだ。4カ国(中国、インド、ブラジル、ロシア)合計の新規加入推移は2Qで1,000万件以上新規加入件数を減らした。ただ季節要因もあり加入の頭打ちとはみられず、下半期は中国に続いてインドでも次世代サービスが始まるため BRICs 全体の新規加入は再度増勢傾向を辿るものと予想される。

端末需要

2Qでは新規加入は前期を下回ったが、端末販売台数は1Qを2%弱上回った。活況な Smart Phone の販売状況から2Qではフィーチャーホンからの買い替え需要が増加したものとみられる。メーカー別では Nokia、LG、HTC 各社が2Qでシェアを拡大した。

地域別販売状況はアジア、中南米が需要を牽引した。アジアでは Nokia を除く上位4社が前期の販売台数を上回り、中南米では Sony Ericsson を除く上位4社が前期対比で販売数量を伸ばした。アジア、中南米とも中国国産メーカーが一定のシェアを確保する地域で、2Qの大手メーカーのシェア拡大から ZTE を中心とする中国メーカーは劣勢を強いられた。

アジア、中南米とは対照的に欧州の端末販売は精彩を欠いた。2Qで欧州向けの出荷が増加したのは Nokia のみで、Samsung、LG、Sony Ericsson、Motorola とも前期並みあるいは前期割れになった。Nokia にしても1Qでは前期(4Q)に対して出荷を大幅に引き下げており、反動による増加の側面もある。西欧、東欧の低迷は下半期も継続する可能性が高い。

7-9月期は各社のフラグシップモデルの本格投入期に当たり、Smart Phone を中心とした販売台数の伸びが見込まれ、3Qは前期比5%の増加を予想した。最も販売台数が期待されるのは iPhone 4 を2Q期末にリリースした Apple で、部品ショートがなければ大きく販売を伸ばす見通しである。Apple 同様 HTC も堅調な伸びが予想され、HTC は大幅な出荷増を見込んでいる。Smart Phone 分野で出遅れた Samsung、LG も下半期で積極的な攻勢に転じる。Samsung は Android Galaxy S を3Qで本格投入する。6月に韓国国内で発売を開始、高いユーザ表を得ている。Galaxy S は自社製のアプリケーションプロセッサを搭載、ベースバンドは Infineon の X-Gold を採用しており、キー部品構成は iPhone 4 に近いものになっている。

LG も欧州向けは Optimus、北米向けは Ally ブランドで Smart Phone に本格参入する。一方 Nokia はフラグシップ N8 を3Qで投入するが、期末の9月が予想されており3Qでの業績反映は期待できない。RIM も Blackberry OS 6.0 の上梓を予定しているが、早くても期末とみられ、3Q業績へのインパクトは薄い。

3Qで iPhone 4、Samsung、LG が攻勢を掛け、4Qでは Nokia が N8 を、RIM が Blackberry6.0 を本格投入し、新たに Windows Mobile 7 の登場というロードマップになる。